

編集委員会

編集長： 土肥 充

編集委員（五十音順）：久保田正人 清野 智昭 高橋 信良 橋本 雄一

査読者一覧（五十音順）

大山 中勝 久保田正人 周 飛帆 清野 智昭 高橋 信良
田中 慎 田端 敏幸 土肥 充 橋本 雄一

編集後記

『言語文化論叢』は「外国語センター」が発足した平成6年度の「創刊第1号」（1995年3月）以来、2004年3月の「第13号」まで年1～2回の発行を重ねた。センターが改組されて「国際教育開発センター」（平成16～17年度）となってからは『人文と教育』（2005年3月創刊号、2006年3月第2号）と名を変えたが、再度の改組で「言語教育センター」（平成18年度～）となって再び『言語文化論叢』という元の名前で創刊号（2007年3月）へとリセットし、今回の第4号に至っている。本誌は言語教育センターの専任教員のみならず、普遍教育の外国語科目をご担当いただいている非常勤講師の先生方にも投稿を呼びかけている。種々の学会誌よりも、多様な言語や文化についての幅広い研究や教育の成果が示されていることが本誌の特徴である。

上に示した計19号のうち、『言語文化論叢』第11号（2002年12月）、『人文と教育』第2号（2006年3月）で試験的に査読制度が導入されたが継続はされなかった。昨年の『言語文化論叢』第3号（2009年3月）で再び査読制度が導入された後に今回も継続され、制度が軌道に乗ってきたと言える。今号について、昨年9月に研究論文8件、研究報告2件の申込があり、最終的に研究論文5件、研究報告2件が掲載された。原稿に何度も修正を重ねられた投稿者の皆様、さらに原稿の評価をするだけでなく建設的な修正意見を多数お寄せいただいた査読者（1原稿あたり2名）の皆様に感謝の意を表したい。（土肥）